

全国 検数労連

716号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



11月8日(火) 14:00~14:30 第二回 検数労連22冬季一時金交渉

物価高騰・生活防衛・人員不足・支部間格差…。

すべてを解決するために、組合要求に沿った回答を！

【第2回一時金交渉】

11月8日(火) 第二回検数労連22冬季一時金交渉が開催され、両協会から冬季一時金交渉対象者の人数、平均年齢、平均勤続等が明記された基礎資料が提示されました。

組合は基礎資料を受け取った後、次回交渉で両協会の今冬季一時金支給に対する考え方の披歴を求める前段で、次の通りの主張を行いました。

【組合主張】

次回交渉では、両協会から一時金支給に対する算式等の考え方の披歴を求めることになるが、その前段で、職場から出ている多くの意見や要望を今一度主張するので、考え方に組み入れてほしい。

今一時金について、現場で働く組合員の期待は大きいものとなっている。現在、物価が急激に高騰し、生活安定のための一時金から生活防衛の一時金という認識に変わってきている。両協会においては毎回のよう『先行き不透明』や『収支の落ち込み』といった主張をするが、これらを理由とした一時金の引き下げは容認できない。

職場では人員不足が深刻化している。人材はより良い条件の職種に移動していることから、人員確保の観点からも『要求に沿った一時金回答での引き止め』といった取り組みは必要である。

支部間格差について、特に全日検北海道地区に対する一時金回答での地域間格差は目に余るものがあると言わざるを得ない。『生活防

衛の一時金』という観点からも地域間格差回答の是正を強く求める。



組織強化拡大に向けて、東北検数 労連八戸分会オルグを開催！

10月7日(金) 組織強化拡大行動の一環として、検数労連八戸分会オルグを開催しました。参加者は、中央から瀬戸委員長、山田副委員長、石渡書記次長が出向き、東北地方での産別課題(秋田能代運輸参入の問題)や全日検部会の秋越年末諸要求の課題、組合の基本的な活動



武力で平和は作れない。つながる憲法を いかに未来へ。11・3憲法大行動！

11月3日(木) 国会周辺を取り囲むように4200人の参加で憲法大行動が開催され、検数労連からは瀬戸委員長・光部書記長・石渡書記次長の三名が参加しました。

岸田首相は今国会の所信表明演説で、国会での改憲発議に向けて、「これまで以上に積極的な議論が行われることを期待する」と表明

しました。東アジアの平和に必要なのは、改憲ではなく憲法を守る生かす取り組みです。の条に基づき平和外交を軸に戦争を絶対起こさない政治を進めることが不可欠です。暮らしと平和を守るために政治を変えるたたかいと共同を大きく進めましょう。



と、労働組合の必要性と存在意義などを講義しました。

参加者からは、同じ東北地区にある秋田港の問題への理解が深まったことや、組合活動が意識されるようになっている、そのことが私たちの生活や労働条件、賃金にどのように関わっているのかが感じ取れた。同時に未組織者に対しても組合への理解を深めるために広報すべきだと感じた等の感想が述べられました。

オルグ終了後の懇親会では、元検数労連中央書記次長兼東北検数労連委員長であった原田さんも駆けつけ、懐かしい思い出話に花を咲かせました。

※検数労連中央では、各地域の要望があれば、春闘期間に限らず、また各地域分会へのオルグも行きますので、ご連絡をお待ちしております。

次回

第三回検数労連22冬季一時金交渉

11月15日(火) 14:00~

両協会から今一時金支給に関する
考え方等を聞いていきます。